

特定非営利活動法人ベビースマイル石巻

令和3年度事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和3年度 総括

各事業、創意工夫をしながら順調に取り組むことができました。

令和2年度から手探りで取り組みはじめた組織強化により、組織全体の一体感、充足感が高まっていると感じています。特にスタッフの連携や、事業、役割への主体的な参加が強まり、運営に安定感が出ました。団体の必要性、事業の必要性の理解をさらに地域につなげていくためにも、支援の質や組織内外との連携の見える化や、専門家との連携による質の担保、などを行っていきたいと思います。10周年として理事、スタッフで作成したビジョンブックは今後さらによりよく練り上げながら、組織のマネジメント力を高め、市民県民のみなさまはじめ、企業など新たな主体へも賛同を戴ける団体へ成長していただきたいと思います。

課題が浮き彫りになっているのが、産前（マタニティ）期へのアプローチと福祉と教育の連携。切れ目ない支援には重要なポイントとなるため、こども家庭庁の創設等、子ども・子育て世代を取り巻く国や県、市の子育て支援の状況把握と当事者ニーズの把握を行いながら取り組んでいきます。

令和3年度 ベビースマイル石巻

役員 ・理事5名・監事2名

会員数 ・正会員14名・賛助会員13名・法人会員2名

スタッフ体制・常勤4名・非常勤11名

【R3年度 事業全体の方針】

地域の元気の源である「子ども」の笑顔のために、子ども自身、保護者、地域に働きかける。多様な育ち、子育て、を理解するため、研修など社会課題の把握にも力をいれ、課題解決だけでなく課題になる前に未然にきづき、つながり、予防する視点で事業を行う。また、引き続き自立した組織運営のために組織一体となって取り組み、多様な子ども子育てニーズに柔軟に対応できる力をつける。

【R3年度 重点目標】

- ・ビジョンミッションの見直し、中期計画（財源・事業）寄付や事業収入になる事業開発
- ・協働・経営について学ぶ
- ・人材育成（組織内外）ボランティアコーディネート
- ・2022年4月12日10周年記念に向けた準備

ビジョン：育てるって、楽しいへ～みんなが親心。頼れる子育てのまちへ～

1, 妊娠期からの切れ目ない子育て支援

【親子の居場所づくり】孤立解消、乳幼児親子同士のつながりによるピアサポート、遊びや学びを通して親子の主体性を育む、地域へつなげる

- ① 【委託事業】地域子育て支援拠点事業（子育て支援課）
- ② 【自主事業】出張イベント（東日本大震災 草の根支援組織応援基金）

【相談・利用支援・関係機関との連携】相談の受け止め、寄り添い、親子の状況にあわせて適切な情報提供、資源とつなぐ、関係機関との連携

- ③ 【委託事業】利用者支援事業（子育て世帯包括支援センター「いっしょ i s s y o」）
（子育て支援課）
- ④ 【委託事業】石巻市産後ケア事業（健康推進課）女川町産後ケア事業（健康推進課）

2, みんなで子育て

子どもたちをみんなで育てるきっかけづくり、みんなが子育て当事者。多世代交流の機会をつくる

- ⑤ 【委託事業】ファミリーサポート事業（子育て支援課）
- ⑥ 【委託事業】子育て参加促進事業（子育て支援課）
- ⑦ 【委託事業】父子手帳作成業務（健康推進課）
- ⑧ 【自主事業】ホームスタート事業（ジョイセフ）

3, 子どもの居場所、子どもの権利の啓発

子ども自身の力を信じて周囲の大人が理解し関わることで、子どもは守る存在から、共に生きる存在へ。子育てが楽しくなる。

- ⑨ 【指定管理事業】いしのまき子どもセンターコンソーシアムによる子どもセンターらいつ（児童館）の運営

4, 組織強化

震災から10年のまち、ひとの課題の変化をとらえ、これから組織が目指す姿を考える。財源、人材育成

- ⑩ 【自主事業】ステップアップのための土台作り（日本NPOセンター）

5, その他

- ⑪ 自主財源の多様化（みやぎチャレンジプロジェクト、チャリティイベント、イオン黄色いレシートキャンペーン、ソフトバンクつながる募金、文集）
- ⑫ 参加するネットワーク等

①【委託事業】地域子育て支援拠点事業（子育て支援課）

- ・休館になった期間もあったが、年間 4509 人、組数で 2077 組の利用があった。
- ・ひろばの利用方法や制限など変更が多くあったが、利用者への周知に公式 LINE 等を用いて混乱なく運営することができた。
- ・0 歳開放日にマタニティの日を設けることで、産前の方が来所するきっかけをつくった。そのため初産の妊婦さんの利用も前年度よりも増え、産後ケアへや産後のひろば利用にも繋げることができた。ひろばの様子を理解したことで安心感につながった等、嬉しい言葉も頂けた。
- ・以前利用者として来所していた方の勤務先と繋がることができたことで、カメイ調剤薬局様にご協力頂きお薬講座を開催したり、(株)アベカツ様の広報誌にベビースマイル石巻を載せて頂くなど、地域との新たな繋がりを得ることができた。
- ・issy やファミリーサポート、ホームスタートとの連携もできたことで、お互いの事業の繋がりも強くなったように感じている。
- ・来所の組数の制限がある中でよりスタッフやママ同士と話ができるようになり、相談や困り感などもしっかり関係を築きながらヒアリングすることができたように感じる。

令和 3 年度石巻市地域子育て支援拠点事業実績報告書 総括表

実施施設名		マタニティ・子育てひろばスマイル												
実施日数	利用者					地域支援取組回数		相談		講習会等				
	保護者等	児童	550～2歳合計	合計	組数	うちサークル支援取組回数	延べ件数	実人数	回数	参加者				
											保護者等	児童	550～2歳合計	
4月	23日	199人	230人	203人	429人	194組	1回	1回	28件	23人	5回	17人	17人	17人
5月	20日	181人	193人	176人	374人	180組	2回	1回	39件	30人	2回	47人	43人	43人
6月	24日	229人	248人	232人	477人	215組	2回	1回	48件	48人		44人	37人	36人
7月	22日	184人	229人	182人	413人	174組	4回	1回	70件	48人		41人	44人	42人
8月	20日	148人	175人	144人	323人	143組	3回	1回	45件	38人		43人	32人	29人
9月	21日	115人	126人	120人	241人	117組	3回	1回	40件	26人		30人	33人	32人
10月	23日	208人	218人	205人	426人	204組	3回	1回	44件	34人		36人	36人	34人
11月	23日	224人	234人	219人	458人	206組	4回	1回	51件	37人		48人	48人	48人
12月	22日	245人	269人	233人	514人	239組	4回	1回	34件	32人		75人	67人	58人
1月	18日	127人	131人	117人	258人	123組			44件	32人		22人	25人	23人
2月	18日	112人	121人	116人	233人	112組		1回	42件	35人		4人	4人	4人
3月	23日	169人	189人	170人	358人	170組	2回	1回	48件	39人		13人	14人	14人
合計	257日	2,141人	2,363人	2,117人	4,504人	2,077組	28回	11回	533件	422人	7回	420人	400人	380人



②【自主事業】出張イベント（東日本大震災 草の根支援組織応援基金）

コロナ禍で参加人数が少ないときもありましたが来所時は本当に辛そうな表情で、来てよかったと笑顔で帰る姿を見て、こんな時だからこそ地域の居場所や顔の見える関係が安心感につながることを実感しました。また、イベントの内容は子どもたちがストレスを発散できるような内容にするなど、引きこっている生活での心身の健康を保つよう心掛けました。また、親たちの気持ちにも寄り添い、地域の方とつなげることができました。

石巻市の子どもの課題、虐待、不登校、DV 等の発生が他地域より高いデータが出ており、震災の影響があると言えないとの研究もあり、地域をつなぎエンパワメントする場は引き続き重要である為、取り組みの手法など考えながら継続的な展開をしていきたいと思えます。

4月6日 ボンボンパーク(大人2名・子ども3名)

5月18日 ボンボンパーク おさがり会(大人39名・子ども27名)

5月27日 みんなのひろば(大人3名・子ども5名)

6月15日 ボンボンパーク ストレス発散(大人8名・子ども10名)

6月24日 みんなのひろば(大人13名・子ども17名)

7月6日 ボンボンパーク 夏祭り(大人16名・子ども20名)

7月29日 みんなのひろば(大人6名・子ども8名)

8月2日 みんなのひろば カット(大人9名・子ども10名)

8月17日 ボンボンパーク ストレス発散(大人8名・子ども10名)

9月7日 ボンボンパーク おさがり交換(大人36名・子ども27名)

9月30日 みんなのひろば(大人8名・子ども9名)

10月19日 ボンボンパーク ストレス発散(大人10名・子ども13名)

10月28日 みんなのひろば(大人6名・子ども5名)

11月16日 ボンボンパーク おさがり会(大人33名・子ども27名)

11月25日 みんなのひろば カメイ薬局さん(大人3名・子ども2名)



③ 【委託事業】利用者支援事業（子育て世帯包括支援センター「いっしょissy」）
（子育て支援課）



【良かった点】

- * ネット検索や、保健師から聞いたりなどの経路により、電話・メールから繋がる新規相談者の増加、issyの認知度が上がっている様子が見えられた。
- * マタニティの方の利用や産後ケアからのつながりも前年度に比べ、増えている。
- * また連携においても、東松島市の利用者支援事業担当者、子ども・若者総合相談センターと顔合わせを行い、今後の連携についても見通しや仕組みが少し見えた。
- * 相談を受けた際に、つなぎ先となる資源がない課題について、子育て支援課と共有し、市が調整を行って新しいサービスが増え、資源が増えた。

【課題】

- * 認知度が上がり、重いケースの相談も増え、更に学齢期の相談も増えているが、つなぎ先が見当たらないケースやすでに公的な相談機関につながっているケースの相談も入ってきており、issy窓口では対応が難しいものの、つなぎ先がなく困ったことも。今後、の体制を市と相談をして整えたい。
- * また、多くの機関が関わる相談者の場合、どのように伴走していくのが良いのかなど、ケア会

議(ケース会議)を持ち、役割や方向性をもって対応していけると、伴走しやすい。*発育に関する相談で、市や保健師にハードルを感じている相談者もあり、つなぎ先に困るケースもあった。

利用者支援事業 相談件数 (令和3年度)															
面談		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
子どもの問題	基本的生活	睡眠	3	0	2	0	0	2	0	0	0	1	1	1	10
		授乳・離乳食・食事	7	2	11	0	3	1	4	5	1	0	0	2	36
		排泄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	10	2	13	0	3	3	4	5	1	1	1	3	46
	発達・発達	遊ぶ・歩行	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
		身体発育	3	1	2	5	4	2	0	2	2	4	1	0	26
		言葉	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	2	7
		社会性・性格	3	2	1	5	5	1	1	1	3	3	2	1	28
		その他	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	4
	小計	6	5	5	11	12	5	1	4	5	8	3	3	68	
	医学的問題	肺炎	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		予防接種	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他		0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	
小計		1	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	
親の問題	妊娠	妊娠・産後	2	1	0	1	2	0	1	0	1	0	4	1	13
		産後調整	1	1	2	0	1	1	0	1	3	0	1	0	11
	生活環境	預け先	6	8	4	9	7	8	5	2	6	1	3	2	61
		近隣・地域	6	8	6	8	2	0	5	6	0	5	0	0	46
		経済	0	0	0	0	3	3	1	1	3	0	0	0	11
		親の健康	0	0	3	5	2	1	0	0	2	2	0	0	15
		不登校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1	4	3	2	1	2	3	3	3	1	1	1	25
小計	16	22	16	25	18	15	15	13	18	9	9	4	182		
社会的問題	小計	24	36	29	22	16	30	29	31	21	28	21	25	312	
	関係機関	活動に関する事	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	1	6
連絡に関する事		12	1	3	1	1	1	0	1	2	0	1	1	24	
その他		0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4	
小計		12	1	8	1	1	2	0	3	2	0	1	3	34	
合計		69	66	76	59	50	55	49	56	47	47	35	38	647	

電話・メール 30 31 58 41 33 44 46 42 33 21 37 45 461 総計 1100 件

④ 【委託事業】石巻市産後ケア事業（健康推進課）女川町産後ケア事業（健康推進課）

【よかった点】今年度は石巻市委託として実施となり、安定した運営となった。産後ケアで早い段階につながり、他事業への連携も良い。女川での実施にもつながり、活動の圏域が広がった。さらに令和4年度からは東松島市の産後ケアも受託。

【課題】利用者の確保について、産科、保健師との連携がさらに必要であることが顕著になっている。土曜日だと経産婦が上の子どもの託児が必要となるために受けないケースも多かった。

・石巻市産後ケア事業

実施場所 石巻市蛇田字土和田19-11（マタニティ・子育てひろばスマイル）

実施結果 延べ 17回

及び参加者 延べ参加者 90名（産婦実人員 44名）（乳児実人員 46名）

・女川町産後ケア事業

実施場所 女川町宮ヶ崎字宮ヶ崎204-4（フリースペース KIKI）

実施結果 延べ 2回

及び参加者 延べ参加者 6名（産婦実人員 3名）（乳児実人員 3名）

⑤ 【委託事業】ファミリーサポート事業（子育て支援課）

●良かった点

・新しく協力会員になった方々に直近で援助を紹介することができ、会員の活動機会を増やす事ができた。

・コロナ感染対策として援助前の検温、体調管理表の提示、消毒セットを配布、ファミサポ援助前後に休校や濃厚接触者になった際の対応法としてフローチャートを作成し、感染対策に努めた。援助による感染の報告はなく、今後も継続して対策を行なっていく

・支援センターを利用した援助が全体の約半数を占めており、2月から支援センター利用が1時間制限になったことでファミサポ利用も利用・協力会員自宅での預かりをお願いした。2月はキャンセルが目立ったが、3月は自宅預かりに抵抗があった会員も自宅での預かりで依頼するようになり、援助の枠も広がった。

・ファミサポの仕組みを正すよう、1人1人に声かけ、周知を行なってきた成果もあり、報告書の提出遅れや連絡のない援助、ファミサポの枠を超えた援助は大幅に減った。

●課題

・障がい児の預かり援助や、福祉サービスの隙間での送迎援助などの依頼に対し、子どもの障がいの度合いや保護者の状態を確認し、子育て支援課と相談しながら慎重に入会説明をしなければならない。

・旧石巻市以外（鹿又、前谷地、須江など）に新しい団地ができたことによって援助依頼も増えることが予想される。協力会員も少ないことから会員獲得に向けて広報活動を強化していく。

・関係機関からの援助の相談に対して、連携をとりながら円満に援助ができるよう相談しながらサポートしていく。

利用会員数 443名 協力会員数 93名 両方会員数 74名 610名
活動件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
155	154	144	135	102	113	135	131	142	112	110	5	1438

ふみさば通信 28号の表紙。記事には「心の健康相談」や「心と体のケアアップ」に関する内容が紹介されています。また、事務局メンバーの紹介も掲載されています。



⑤ 【委託事業】子育て参加促進事業（子育て支援課）

パパとあそぶまなぶDAYのポスター。TV23火曜 9:30-13:00の放送情報と、子育て支援に関する情報が記載されています。

おひさまフェスタのポスター。3/13 SUNの開催情報と、DADWAYやパパサポートに関する情報が記載されています。

・今年度も新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら開催となり、予約により対象人数を把握して開催しました。

また、2回目の実施時期についてはコロナウイルス感染拡大により集合型のイベント実施を控え、企画運営メンバーと相談の上、オンラインでの実施となりました。参加者の回線が不安定でトークの際に音声が入らなかったり、接続が切れたりトラブルもありましたが無事実施することができました。

・過去アンケートでもリクエストの多かった「子どもとの遊び」、「育児家事分担」を企画実施することができました。

・アンケートからは「子育て促進事業や父子手帖の活用が子育て参加するきっかけになり、

さらに参加できる機会を期待している」ことが分かりました。

このような父親のニーズを地域社会に伝えることも役割の一つと考え取り組みたいと思います。

・今年度は企画運営メンバーに1名の新規メンバーと、イベント参加者から次年度以降の活動候補者3名が加わりました。

・今年度は父親の子育て支援について関心や興味をもつ企業との連携を取ることができ、企業の社会貢献とも相性が良い事業であることが伺えました。

・企画会議では父親の交流の場ともなっており、企画会議への父親の参加人数を上げることで、さらに活発な事業となると感じます。

⑥ 【委託事業】 父子手帳作成業務（健康推進課）

今年度も、子育て中の父親が中心となる検討会議において、父親の子育ての現状を多角的にとらえて改訂をおこないました。手帳自体の発信を積極的に行って活用につなげ、父親支援の充実により子育てに主体的に関わる父親を増やしていきます。

780冊作成



⑦ 【自主事業】 ホームスタート事業（公益財団法人ジョイセフ）



・2020年度の準備期間（オーガナイザー養成、ホームビジター養成など）をへて、2021年からホームスタートの実質の活動がスタートしました。40代から70代まで、7名のホームビジター全員が活躍し、16家庭、全64回の援助を行うことができました。（うち3家庭が延長希望し2ターン援助を行う。双子援助は3家庭あった。）

ホームスタートの周知については、ベビースマイルで行っている事業（マタニティ・子育てひろばスマイル、子育て世代包括支援センターissy、石巻市ファミリー・サポート・センター、石巻市産後ケア事業ママファースト）を経由して申し込みされるケースが多く、石巻市市民相談センターや、他の子育て支援センター（にじいろひろば）経由で申し込みをされた方もいらっしゃいました。ベビースマイルが築いてきたネットワークがしっかり生かされたと実感しています。

・10月にはホームスタートスキーム（組織）を構成する際に設置が必要となる「運営委員会（トラスティ）」の立ち上げも行いました。社会福祉協議会、東部児童相談所、石巻市役所子育て支援課、石巻市役所健康推進課など子育てに携わる各専門機関のメンバーにご参加いただき、ホームスタートの目的や活動の実態をお伝えし、ホームスタートの周知や今後の連携イメージについての共有を行いました。

・issyの相談にこられた産前・産後の方に、ホームスタートと合わせて、産後ケア事業、育児ヘルパー事業、ファミサポ事業などを組み合わせて産前・産後の大変な時期を乗り越えられるよう複合的な支援のコーディネートをおすすめしたケースがありました。その方のケアプランが他の産前・産後ママの参考として役立っています。



ジョイセフ 4Hでの報告会の様子

⑨ 【指定管理事業】いしのまき子どもセンターコンソーシアムによる子どもセンターらいつ（児童館）の運営

NPO法人子どもにやさしいまちづくり とのコンソーシアム運営により、石巻市子どもセンターの指定管理を行った。0歳～18歳の子どもたちが遊びを通して育つ施設。震災直後にセーブ・ザ・チルドレンが子どもたちに実施したアンケートにより「まちのためになにかしたい」子どもたちの声が見える化し、子どもまちづくりクラブを結成。夢のまちプランを作成し、アイデアをつめこみ具現化したものが子どもセンターであり、子どもの権利、子ども参加を柱に子どもたちと運営している。

特筆

・全国児童館・児童クラブ みやぎ大会実行委員会への参画



⑩ 【自主事業】ステップアップのための土台作り（日本NPOセンター）

「自立的自発的な組織づくり」のために助成金を活用し、理事やスタッフと共に組織強化を行った。ビジョンツリーの作成、中期の素案、ビジョンミッションの策定、ビジョンパンフの作成を行うことができた。また、NPOとは、財源について、ステークホルダーなどを入れ込んだワークで人材育成を行った。



⑪ 自主財源の多様化（みやぎチャレンジプロジェクト、チャリティイベント、イオン黄色いレシートキャンペーン、ソフトバンクつながる募金、文集）

みやぎチャレンジプロジェクト



STOP！孤育て！子育てのSOSに地域みんなでおせっかい

現在 517,297 円

目標額 750,000 円

街頭募金（イトーヨーカドー）3回 87510 円

チャリティイベント

①ヨガ：団体立ち上げ当時の参加者の提案で実施。7名 7000 円

②チャリティおさがり会 5/197104 円 9/71871 円 11/16 763 円 合計 9738 円

イオン黄色いレシートキャンペーン

19900 円

ソフトバンクつながる募金

月約 10000 円×12 か月

文集 子どもたちへ～ママたちがいま伝えたいこと～

働く女性向けオンラインメディアCHANTOWEBの3.11の特集取材を受け、LINEとのコラボ企画により多くのかたにベビースマイルを知っていただく機会となり、文集の注文をいただいた。

3月現在 197冊 (1,320円×197冊=260,040円 代金回収中)

⑫ 参加するネットワーク等 (順不同)

いしのまき人財・地域創生会議、いしのまき市民公益活動連絡会議、宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会、全国子育てひろば連絡協議会、女性労働協会ファミリーサポートネットワーク、ホームスタートジャパン、蛇田公民館利用協議会、蛇田地区第2層協議体、(仮称)蛇田地区住民協議会、向陽小学校学校運営協議会